

日時：2017年11月2日（木） 11:00～16:30

場所：Conference Room Indofood 39th floor, Indofood Tower, Jl Jend Sudirman Kav 76-78 Jakarta

- 目的：1. Workplace Nutrition 活動について紹介。
2. 成功事例を紹介することにより、実施効果（行動変容から生産性向上）を理解する。
3. インドネシア政府の栄養改善分野の方針を理解する。

参加者：日系企業、インドネシア企業から約60名の参加を得た。

内容：(1) 栄養改善に向けた活動／政府機関からの開会挨拶

Dr. Anung Sugihantono（保健省）

- 職場食プロジェクトとして、安全で健康的な食事を用いた継続的なアプローチを期待。
- 健康的な食事を用いたプロジェクトは次世代に伝承されるべき活動であり、さらに家族への教育責任がある。

Dr. Subandi Sardjoko（国家開発計画庁）

- インドネシアで見られる Double burden の問題を紹介。
- 「塩分、砂糖、脂肪の摂取」と「運動」に焦点を当てた活動が必要。
- 栄養問題の改善に取り組んでいる。

大屋企画官（農水省）

- 官民連携である NJPPP 設立の背景を紹介。

(2) Workplace Nutrition に関する SUN BN 活動

(3) NJPPP の Workplace Nutrition 活動の現状を紹介

- NJPPP 発足と同時にモデルプロジェクトとして、推進してきた。インドネシアの栄養課題 Double Burden に焦点を当てた対策として、栄養バランスを考えた食事提供を進めていることを紹介。パイロット試験導入工場を見つける事を当面の課題としている。

(4) Work place Nutrition 成功事例、先行事例

1) PT Panasonic Manufacturing 社

- gdsk（PT Gobel Dharma Sarana Karya）社と協働で取り組んできたプロジェクト並びに成果について紹介。
- 2016年度のゼロ欠勤者が、458名（全体の20.1%）。
- 統合労働衛生プログラム導入により生産性が向上（健康的な労働者の育成、職業病の防御）
- 「物をつくる前にまず人をつくる」という人材育成プログラムは、労働環境、生活スタイル/行動、健康サービスを管理することで、労働者の幸福に留意し、健康的な食品栄養を提供しなければならない。
- 政府規則の遵守や従業員満足を高めるための企業創成に基づき、厚生施設の最適化を推進。

2) Nutrifood 社/Indonesia University project

- 2009年からプロジェクトを段階的に導入。
- 栄養バランスの取れた食事と運動との兼ね合いも考慮した取り組み。

3) バングラデッシュ先行事例/BSR

- バングラデッシュで実施した HER プロジェクトによる女性労働者の栄養改善プロジェクトについて紹介。①ヘモグロビンレベルの向上、貧血の減少、②栄養に関する知識の向上（ビタミン、貧血、鉄分）、③平均欠勤数の減少、④有休休暇の減少、を導いている。

4) アカデミアからの情報提供

○ インドネシア大学(Nutrifood project)

① 職場食プロジェクトの背景説明

- 既報のシステマティックレビューの紹介

② Indofood における実践プログラム紹介

- 食事と運動の兼ね合い、継続が重要。
- 栄養状態は、精神的、身体的能力に関係し、疾病率、欠勤率に直接かかわる。
- 栄養評価（介入前後）、栄養教育、食事摂取状況、環境（ゴミ箱、洗面所等）の重要性。
- ホワイトカラーとブルーカラーとで成果の違いが散見。

③ 成果の見え方として、身体の体力活動の変化は、見やすいが、食習慣の変化は、見難い。継続的な成果観察が必要。

○ Bogor Agricultural University

① 日本栄養改善学会を通じて NJPPP からの委託研究「インドネシア女性の栄養状態基礎調査（デスクレビュー）」について報告。

- インドネシアにおける労働女性の健康、栄養状態の把握（状況分析）
- 労働女性に関する関連法規、プログラム、取り組みの分析（政策分析）
- 上記勘案した労働女性の食事改善に向けた提案

今回実施した状況分析、政策分析では、提案には不十分。ターゲットとなる女性群に焦点を当てたデータ解析が必要。

(5) アンケート実施

今後のアクション：

- アンケートを解析し、パイロット試験導入に興味を持っている関係者を個別にあたる。
- プレゼン資料を公表し、参加できなかった企業にも内容にリーチできるようにする。
- PT. Panasonic 社のパートナーである gdsk 社との面談を通じ、栄養バランスの取れたメニュー提供の進め方について、継続協議する。

以上